

個別システム端末導入時の要件

1 本体の仕様

(令和6年8月1日時点)

P C本体及び付属品	OS	Windows11 Pro (64bit) ボリュームライセンス版 導入時点でサポートが有効なバージョンであること
	メモリ	8GB 以上
	ディスプレイ	ノート型にあつては内蔵型の Web カメラを備えたもの
	ネットワーク機能	1000BASE-T、100BASE-TX、10BASE-T 対応 無線 LAN 機能はあつても無効化すること
	マウス	L G W A N 系端末にあつては USB 接続タイプ マイナンバー系端末にあつては静脈認証読取装置兼用マウス (「PalmSecure-SL マウスタ입センサー (型名 FAT13SLS01)」)
標準的なソフト	ブラウザ	Microsoft Edge (IE モード利用可)
	Office 製品	Microsoft Office LTSC 版
	PDF 閲覧	Adobe Acrobat Reader DC
必須ソフト (※)	資産管理ソフト	SKYSEA Client View を導入すること 増設台数分の「SKYSEA Client View (GL) Light Edition クライアントライセンス」は、原課で調達 (ランク : 1500-1999)
	ウイルス対策ソフト	ウイルスバスターコーポレートエディションを導入すること 増設台数分の「ウイルスバスター Corp. Plus TRSL (ガバメント)」は、原課で調達 (ランク : 1000-1999)
	ファイル暗号化ソフト (L G W A N 系)	セキュリティプラットフォーム (Sep) を導入すること 増設台数分の以下ライセンスを、原課で調達 ①セキュリティプラットフォーム クライアントベック Evolution / SV ②セキュリティプラットフォーム クライアントインターネットオプション ③セキュリティプラットフォーム クライアントエンクリプション
	静脈認証ソフト (マイナンバー系)	PalmSecure LOGONDIRECTOR を導入すること 増設台数分の「PalmSecure LOGONDIRECTOR クライアント V4 追加ライセンス」は、原課で調達
共通システム (L G W A N 系)	グループウェア	desknet's NEO V7.5 R2.0 のクライアント動作環境を満たすこと
	統合内部システム	文書管理、財務会計、庶務事務各システム及びスキヤナのクライアント動作環境を満たすこと。
	インターネット	Soliton SecureBrowser II のクライアント動作環境を満たすこと
その他	サーバ CAL	本市のアクティブディレクトリサーバ接続用として、調達台数分の最新版 Windows Server CAL (デバイス) を調達 ただし、個別システムのサーバ接続用として、上記 CAL を調達する場合は、重複して調達する必要はない
	本市ネットワークへの参加	ネットワーク保守業者に対し、庁内ネットワークへの接続に伴う ActiveDirectory への参加等、環境構築に関する費用を見込むこと。
	セキュリティワイヤー	サンワサプライ(株)社製「超小型シリンダセキュリティ SLE-25S-1」が取り付け可能なこと。

(※) 導入時点で調達した資産管理ソフト、ウイルス対策ソフト、静脈認証ソフト、ファイル暗号化ソフトは、次回以降デジタル戦略課で更新を行います。

2 各種の設定及び導入の方法

(1) 標準機能の調整

Windows ファイアーウォール、Windows 機能の有効化又は無効化、プログラムのアクセスとコンピュータの既定の設定、規定のプログラム、自動再生、デスクトップアイコン変更、Windows 自動更新、セキュリティ、メンテナンスメッセージ、電源オプション、Windows Defender 等

(2) ソフトウェアのインストール作業

ア SKYSEA Client View (資産管理ソフト：インストーラーはデジタル戦略課が提供)

イ ウイルスバスター Corp Plus (ウイルス対策ソフト： “ ”)

ウ PalmSecure LOGONDIRECTOR (静脈認証ソフト： “ ”)

エ セキュティプラットフォーム (Sep) (ファイル暗号化ソフト： “ ”)

オ 総務課スキャナ用ドライバ (ドライバソフト：インストーラーは総務課が提供)

カ 固有の業務システムで使用する ActiveX 等 (グループウェア等を使用する場合)

(※) 上記のうち、ウはマイナンバー系ネットワークに、エ・オ・カは LGWAN 系ネットワークにそれぞれ配置するパソコンに対して必要となるものです。

(3) 標準的なソフトウェア

導入時点で最新のセキュリティパッチを適用すること。

(4) 本体付属ソフトウェアの整理

本体プリインストール済みで、発注者が不要と判断したソフトウェアをアンインストールすること。

(5) 資産管理ラベルの貼付

パソコン本体の2か所 (外蓋右下及びディスプレイ枠の右下) に、テプラ 12 mmを用いて端末識別表示及び導入年月 (和暦) を記すこと。

(6) ネットワーク接続の設定

ドメインの参加に必要な設定を施すこと。

(7) 本市ネットワークは、ネットワーク分離 (インターネット系、LGWAN系及びマイナンバー系) 下、それぞれの環境での利用となる。このため、ネットワークをまたいだ環境への接続は出来ない。

3 その他 (必須ではありませんが推奨します。)

動産保険の適用

機器等 (ソフトウェアを除く) に関して、受注者側の負担による動産保険を適用させること。